



「心豊かな活力とうるおいのある住みよいまち・可児」を!

夏の日の思い出

子どもの頃の思い出は、生き生きとして
いつまでも心に残る“生涯力”となる



未来への あせ

思・い・出・は・宝



〈人権文化の光彩〉

(体験談でなく小説です)

平成20年度「300字小説」(最優秀賞) 井戸綾香(中学2年) (現:中学3年生)

そよ風

あの時の私は一人ぼっちだった。教室では空気と
同じような存在になっていた。

けれど、そんな私にも「部活」という居場所があっ
た。このとき、必要とされることの大切さが私の心を
あたためてくれた。

「大丈夫だよ。一人じゃないんだから。」

「ありがとう。」

こんな会話が何回もあり、その言葉にどれだけ救
われただろうか。

話し合いの末、私は空気ではなくなった。しかし、
私が受けた心の傷は一生直らないであろう。

それでも私は今を生きている。仲間からもらった救
いの手に感謝しながら。

目次

- 平成21年度 前・後期活動あらまし (講演会:12/5 渡辺千賀子(ソプラノ歌手) 募集中! 他).....②
- 本センターイメージキャラクターぬくもり「まゆちゃん一家」デビュー.....③
 - まゆちゃん一家の「人権4コマまんが」スタート ●他4点でデビュー
- コーナー.....④
 - 壁の箴言(あなたは知っていますか?) 一偉大なる想いと「自由の女神」への共感
 - 投稿だより(心田への薫風)ー歴史は未来へ(可児郷土歴史館長 林良治)/「こどもの権利条約」考(児童センター(広見・帷子)所長 山口和己)
 - 心のビタミン ●(新コーナー)可児ぬくもりネットだより「心の響き」 他

平成21年度 前・後期活動のあらまし

主な 後期計画(10~3月)

やります!

- ・12/4~10 展示会(役所ロビー)
- ・12/4 街頭啓発(大型店舗にて)

- ・日時 12月5日(土) **車いすO.K**
13:30(開演) 13:00(開場)
- ・定員 300名(抽選)
- ・申込み 9月1日(火)~10月31日(土)

募集中!
(入場料:無料)

(~10/31まで)
1通で2名まで記入可

郵便はがき 5090203 往信 可児市人権啓発センター行 (左)		可児市下恵土5166の1 可児市総合会館分室内 ※何も記入しない (右)
郵便はがき 返信	※自分 の氏名 ※住所 電話番号(代表のみ) 参加者氏名 ①氏名 (自分(代表)の名前) ②氏名 (ある場合のみ) ※車椅子の希望のある 方のみ明記してください。 (右)	※当日この葉書持参 (左)

新ホームページ発信中!

可児ぬくもりネット

(アドレス <http://www.kani-nukumorinet.jp/>)

アクセス数:561件
(6/23~9/24)

ご覧ください



主な内容

- ・本センター紹介
- ・お知らせ(募集等)
- ・機関紙「ぬくもり」創刊号~
(ピックアップ)
- ・ぬくもり日記
- ・今週のビタミン
- ・人権相談案内
- ・人権出前講座案内
- ・人権本巡回制度のお知らせ
- ・展示室(人権あらかると)
- ・可児の人権調査結果(ピックアップ)
- ・他

☆ハガキにて、ご感想、お寄せ頂いた方に「ぬくもりカード」をお送りします。

(毎月:1日~5日消印有効)

主な 前期実績(4~9月)

やりました!

7/11 **ぬくもりフォーラム**

満員御礼

テーマ:人はだれでも美しい心を持っています



損得でなく誇りをもって!

報道・中日新聞
・ケーブルテレビ可児

- ・講演
上田藤市郎氏
(中江藤樹記念館館長)
- ・映画
「近江聖人 中江藤樹」
(参加総数:120名)

9/19~20 **人権全国大会イン岐阜に出展**

ハートフル・フェスタ2009ぎふ



- ・本センターの活動報告
- ・イメージキャラクター
まゆちゃん一家デビュー
等身大(まゆちゃん きいと君)
- ・H・P放映・スライドショー
(本センターブース 配布物)
ぬくもりカード・機関紙
ブックスカード・本センターガイドブック
(実質来場対話数:242名)

6/12 **研修会(同和)**

役員・推進員 参加者(14名)



今もある差別を正しく知ろう!

- ・三重県人権センター
- ・講話:稲本栄氏(30分)
- ・館内視察

6/1~ **人権本巡回制度発足** **ぬくもりブックス・フロア**



- ・小中学校:子ども・先生用
- ・期間:1ヶ月毎
- ・コース:小2コース
:中1コース
(6~8月実績読書数:378名)

6/2 **第1回 街頭遊説実施** 年度4回予定



- ・宣伝カー4/22納車される
(スピーカー付・テープ放送可)
- 宣伝内容
・「子どもの人権条約」20周年について
- ・行事募集について

7/15~9/18 **ぬくもり「標語」と「300字小説」募集終了!**

- 結果
- ・応募者総数:1,449人
(応募者内訳)
標語:1,349人 300字小説:100人
小学校:1,001人 中・高・一般:448人

本センターイメージキャラクター

ぬくもり

まゆちゃん一家 (4人家族)

デビューする

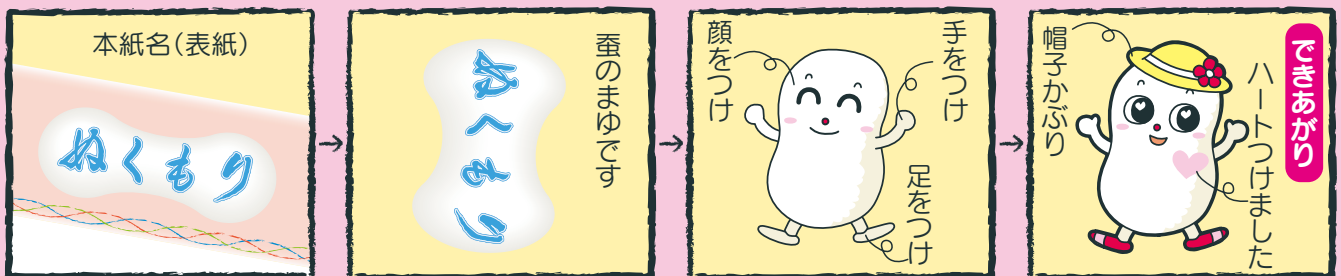


人 柄

・まゆちゃん	(本人)	元気活発	6才
・きいと君	(お兄ちゃん)	のんき者	9才
・カイ子	(お母さん)	しっかり者	30才
・まわ太	(お父さん)	おおらか	35才

1) 本紙「ぬくもり」デビュー〈人権4コマ・マンガスタート〉 本号から連載

まゆちゃんのできるまで



2) 人権全国大会イン岐阜

H21.9/19~20

まゆちゃん、きいと君 立体でデビュー



まゆちゃん、きいと君は全国からの来場された人々を「ようこそ、本センターブースへ」とお迎えし多くの人から「かわいい」と評判でした。全国の地方での啓発センターではこのようなデビューは初めてのようです。

ぬくもり まゆちゃん

〈いのちはどこにいくの?〉

作: 々々 / 画: miho



3) ブックス・フローのしおり(図書貸出カード)でデビュー H21.6/1

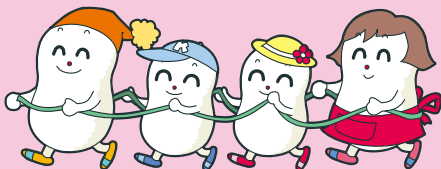


本センターの人権事業の一つとして在庫の1,500冊の中から小中学生・先生への貸出しを始めました。その貸出カード(小学生用)にデビューしました。(1校1ヶ月で巡回しています)

本しおりは子どもたちに人気で、驚くほどの多くの人々が本を読んでもらっております。

4) ぬくもり日記 新ホームページ上 デビュー H21.6/23

(<http://www.kani-nukumorinet.jp/>)



「ぬくもりの記事」コーナーを、多く入れたホームページです。特に、ぬくもりの心で日々感じたことを書かせてもらっています「ぬくもり日記」「今週のビタミン」は、その都度新しくして掲載しております。

5) 「ぬくもりカード」トップページでデビュー H21.9/19



年1回の人権週間(12月4日~10日)は、市長を先頭に人権街頭啓発しています。この時などに配布し市民の心が、少しでもぬくもりの心となるよう作成しました。(ポケットタイプでいろんな情報が入っています)

川の光

松浦寿輝 著

中央公論新社

“愛すべき命の輝き—感じてごらん、
小さな鼓動を”

「ねえ、お兄ちゃん。川は眠らないのかな」
「川は眠らないよ。いつもいつも流れつづけているんだ」
「疲れしないかな」
「川は疲れしないよ。川は流れつづけていることが楽しいんだ。嬉しいんだ。ほら—」チツチは水面に突き出した大きな石に当って流れが白く砕けているあたりを指さした「ほら、あんなふう川が笑っているじゃないか」

「本のオビより」

平和な川辺の暮らしを奪われ、安住の地を求めて旅に出た小さな3匹のネズミ一家の大きな物語(NHK:09.6.20アニメ放送済)読売新聞「夕刊」連載作品(完結)

人権啓発図書貸出し中

時々コーナー

可児ぬくもりネットだより

(今週のビタミンから)

心の響き

幸福感は人に伝わる (H・P H21.6.23付)

一人の幸福感、充実感に変化が起これば、それは周囲に伝わり幸福な人々の集団形成に寄与する。つまり幸福と感じることで、満足とすることは、人から人へと伝わり大勢化する傾向がある。(米ハーバード大学医学部発表による)

人は、一人だけで生きているのではなく、生命のネットワークの中で影響し合いながら生きている証拠である。

夢ある鳥のみが飛んだ (H・P H21.8.5付)

「鳥は、翼があるから飛ぶことができたのではない。飛ぼうという意志があるから飛ぶことができたのだ。飛びたいという夢がある鳥のみが飛んだのだ！」(生物学の法則より)

だから、何かをやってみたいという夢のある人には、何が先ではなく夢と意志が同時に備わるのである。夢と意志は、不二なのだ。夢は高く、意志を強く持つことだ。

本センターH・Pアドレス:

<http://www@kani-nukumorinet.jp/>

偉大なる想いと
「自由の女神」への共感

米国の象徴であり世界遺産の「自由の女神」が「9・11のテロ」から閉ざされていたがこの度開かれた。「あなただけの国の疲れた民、貧しい民、身を寄せ合っている民を私のものとしてよこさない」(エマ・ラザラスの「出迎えの詩」が米国人の手で作られた台座部分に刻まれている。

像は、アメリカ合衆国の独立100周年を祝い、独立の支援者、フランスの設計者「ラブライエ」の寄贈の呼びかけに仏人が呼応して作った。

設計は「バルトルディ」である。また仏のエッフェル塔設計者「エッフェル」も関わったという。バルトルディはドラクロワの絵「民衆を導く自由の女神」をモデルにしたが、像の顔は苦勞して育ててくれた母の顔としたのだ。

偉大なる想いは多くの人の共感を呼び、より荘厳な形となるのである。(編者)

投稿だより

心田への薫風

歴史は未来へ

可児郷土歴史館長
(文化振興課長)

林 良治

可児は多くの文化遺産をとどめる歴史のまちです。郷土歴史館では、この地域にかつて生息していたカニサイなどの動物や太古の植物の化石、そしてこの地で古から人々が生活を営んでいた証である、各種の石器や土器、陶器あるいは祭具などを展示しています。

これらを見ると、可児地域は豊かな自然に恵まれて古くから多種多様な生物が生息していたこと、そして多くの先住の人々がこの地を拓いて郷土を造り、今の時代の礎を築いてきたことを教えてくれます。いろいろな生物が、そして沢山の個性ある人々の営みが関わり合い絡み合っている歴史となり、現代へとつながっています。

この歴史は未来へと続きます。未来もまた、多種多様な生物が息吹き、そして人々が互いに認め合い支え合う「豊かな」まちになることを願うものです。

「子どもの権利条約」考

児童センター(可児)所長
(こども課長)

山口和己

本年は、「子どもの権利条約」が国連に採択されてちょうど20周年にあたります。我が国においては、5年遅れで批准したことから15周年を迎えたことになりました。

さて、世界中には、いまだに昔からの風習や慣習によって、また、貧困からくる危険な仕事への従事及び戦争下での徴兵など、子どもの人権が侵害されるような慣行が今もなお続く国々があります。

また、先進国と言われ、この権利条約を批准し、高らかに子どもの人権を訴えている国々でさえ、児童への虐待やネグレクトが行われている実態があります。

我が国の児童虐待については、報道を見聞きされてご存じかと思いますが、私は、その担当する部署にあり、もともとと深刻な状況にあることを実感しています。

「親子の絆」「無償の愛」「限らない愛おしさ」など、私たち親・大人が本来備えている能力が十分に発揮され、責務が果たされる社会を目指したいものです。

本センター日程 (10~3月)



- ・ 10/8 「人権週間の取り組み」について
ケーブルテレビ可児/FMでんでん
出演: 玉置武司/斎藤美智子
(10/10~16放映)
- ・ 12/4~10 ぬくもり標語、300字小説展示
市役所ロビー内
- ・ 12/4 出発式(役所ロビー)人権街頭活動(パロー店他)
- ・ 12/5 ぬくもり講演会(アール)
- ・ 2/15 ぬくもり2月号発行

「花を植えることは生命を植えること。」

編集後記(啓発のひかり)

あわただしき日々も秋風の吹く夜に、ふと一息つく。そして、その後また後半の動きの中にのめり込んでいく。こうした連続の動きも新鮮な空気を吹きこまねばエネルギーとならない。

「幸の連帯は、熱くなつた人から人へと伝播する。」米国のハーバード大学医学部発表である。目に見えない人権の運動は、その身に会った人、感じた人、でないとならぬ。空気のようなものだからと思う。

本センターの役員・推進員共々後半に「勇躍の推進」を決意しています。

(編集者: 川手靖猛)